

内閣総理大臣 福田康夫 様

防衛大臣 石破 茂 様

革新・愛知の会（平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会）
2008年2月20日開催・第3回代表世話人会

イージス艦衝突事故に強抗議し、吉清さん親子の一刻も早い救助と、真相徹底究明をつよく求めます。

愛知県小牧基地への「空中給油・輸送機」配備反対、米軍再編・基地強化と自衛隊の海外派兵体制づくり予算の削減を求めます。

19日に引き起こされた、イージス艦「あたご」によるマグロはえ縄漁船「清徳丸」への衝突事件に対して強く抗議します。防衛省が、一刻も早く、吉清さん親子2人の救助に全力を挙げると共に、真相を包み隠さず国民の前に明らかにすることを求めます。

今回の事件は、高性能レーダーシステムを備えたイージス艦が「衝突回避」を怠っていた事故であることは明白であり、強く抗議します。

そもそもイージス艦は、アメリカの戦争政策の一翼を担った、「ミサイル防衛」(MD)構想の中心を担うものであり、建造費も1400億と国民の血税を食物にしたものであり、「国民の命を守るもの」ではありません。

それは、被害を受けた漁民の所属する、新勝浦市漁協組合長の外記榮太郎氏が「国民の命と財産を守らなくてはならない自衛隊のために、家族が奈落の底に落とされたのは非常に残念です」と述べられていることに端的に示されています。しかも、事故後の海上自衛隊の説明には多くの疑問の声があがっています。

私たちは、防衛省が、吉清さん親子の一刻も早い救助に全力を挙げることはもちろん、事件の真相を包み隠さず国民の前に明らかにし、その責任を明らかにすることを強く求めるものです。

同時に、社会保障制度の相次ぐ改悪など国民生活が圧迫されている中で、米軍の思いやり予算や、人の命をかえりみないイージス艦などミサイル防衛費等を削減して、国民生活に回すことを強く求めるものです。

また、私たち愛知県民は、小牧市に配備される、空飛ぶガソリンスタンド「空中給油・輸送機KC767」の配備に反対します。同機は、イージス艦同様に、アメリカの戦争政策に荷担し、憲法9条に反するものです。「空中給油・輸送機2機」の配備、及び新部隊「第404飛行隊」(仮称)の発足を直ちに止め、その予算削減を求めます。

革新・愛知の会（平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会）

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館403

TEL052-872-6918 FAX052-872-6919